

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1072	(H.24)No.	1072
-----------	------	-----------	------

事務事業名		献血推進事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	地域医療室	富岡憲子	63-3913
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 49 年度 ~ 平成 年度	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	250504
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	保健衛生総務費	献血推進事業

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
安全な血液の安定した供給・確保のため、名張市献血推進協議会の協力のもと啓発活動を進め、地域住民及び市内事業所等への献血思想の普及に努める。	

めざす効果(事業目的)
献血に対する思想の普及を図り、理解・協力・参加していただき、血液製剤を確保する。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	移動採血車配車日数 23日(延52会場) 内3日 啓発活動実施 ・献血ページント(7月) ・献血推進の日(11月) ・ウインター献血キャンペーン(2月) 献血者数 825名	移動採血車配車予定日数 22日 啓発活動の予定 ・献血ページント(7月) ・献血推進の日(11月) ・ウインター献血キャンペーン(2月) 献血目標者数 990人	補助金・交付金	その他 ( 日赤と共同で実施 )	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			街頭献血 キャンペーン 事業所献血の 実施	街頭献血 キャンペーン 事業所献血の 実施	街頭献血 キャンペーン 事業所献血の 実施
直接事業費	129千円	119千円	119千円	119千円	119千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他( )				
一般財源	(0) 129	119	119	119	119
人工数	職員	0.60人	0.12人	0.12人	0.12人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 4,380千円	876千円	876千円	876千円	876千円
+ 総事業費	(0千円) 4,509千円	995千円	995千円	995千円	995千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	献血協力者数(400ml献血)	-	-	-	1,034	990
	実績		958	921	794	825	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
<p>安全な血液を安定供給していくために、献血協力者の目標数値を設定し取り組みを進めている。しかし、目標数値に達しない状況である。献血思想の普及及び協力を得るため啓発活動に努める必要があります。</p>	<p>名張市献血推進協議会と協力しながら、献血に対する思想の普及と啓発を引き続き図っていきます。</p>

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> できる	年3回のキャンペーンでの取り組み内容の検討や、啓発等の工夫を行いながら献血に対する理解と協力をお願いしていく。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない <input type="checkbox"/> ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) <input type="checkbox"/> 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない <input type="checkbox"/> できる	血液センター及び献血推進協議会の協力を得て、取り組み内容及び啓発の充実を図る。

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

安全な輸血用血液や血液製剤を安定供給していくために引き続き取り組んでいく必要がある。

特記事項